

KFCと尚絅学院大がつくる名取のメディア

## ハナモモ通信

2018年4月



ハナモモちゃん

【発行】河北新報普及センター  
【協力】尚絅学院大 河北仙販  
【エリア】名取市内  
【部数】11,600部  
【電話】022(266)2991



ガイドツアーの様子

行われたガイドツアーでは、散策路を歩きながらカタクリを探しはじめ、周辺に自生する山野草の説明が行われ、参加者はメモを取つたり写真撮影をしたりと大変興味深く学んでいました。自由散策では会が作成したマップを頼りにカタクリの群生地や散策路を歩いて思い思いに春の山を楽しみました。

4月14日、名取市高館山の高館山自然レクレーション施設で「カタクリまつり」が開催されました。高館山の魅力を発信することを目的に那智が丘公民館主催で行われるこのまつりは昨年に続き2回目を迎えます。毎年4月上旬になると高館山は一面カタクリの花が咲き、地元では「カタクリ山」と呼ぶ人もいるそうです。

今年、新たに地域住民により結成された市民団体「那智カタクリの里を育てる会」共催のもと前回よりも多くの方が参加し賑わいを見せました。開会後、2班に分かれて

## 春の高館山を満喫

## カタクリまつり開催

カタクリの花



「那智の近くにこのような豊かな自然があるのは名取の宝。地域をよりよくしようと住民の方々が具体的に行動していく素晴らしい」

●山田司郎名取市長  
「田地の近くにこのような豊かな自然があるのは名取の宝。地域をよりよくしようと住民の方々が具体的に行動していく素晴らしい」

●馬場文雄那智カタクリの里を育てる会会長  
「那智が丘町内ののみならず仙台近郊からも多くの方に参加頂き、これから活動に弾みがつく。これからも地域の財産として育てていきたい」

●木下末也公民館館長  
「今年は開花が早かつたが地域の皆さんに来てもらえた。地域の皆さんに感謝のなか「芋煮」、「玉こんにゃく」、「抹茶」や「団子」に舌鼓を打ちました。育てる会の活動は名取市

市制60周年記念市民提案事

も協力頂き感謝します。来年以降も恒例行事として続

けていき那智が丘のブランドとしていきたい」

今後更に盛り上がるイベ

ントになりそうです。

高館山は春のカタクリはもちろん、夏は森林浴、秋

は紅葉、冬は山紫水明な景

色を四季折々の楽しみ方が

あり、夜は綺麗に星が見え

て天体観測にもうつづけ

です。またウォークラリー

266

TELE 022(386)6

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

266

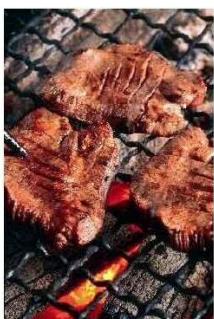
266

266

# 名取産食べ隊

## ハナモモ記者が行く 牛たん炭焼利久 名取店

# 牛たん絶品 海鮮も魅力



今回は、宮城県で知らない人はいないと言える有名店、名取市田高の県道258号線沿いに店を構える「牛たん炭焼利久 名取店」をご紹介します。利久と言えば、なんといっても牛たん。嗜めば嗜むほど味が出る牛たんは、炭火で丁寧に1つ1つ焼き上げています。名取店限定の特別定食には、牛たん焼きと特製牛たんステーキが付いて、ランチが1480円と大満足のお値段（夜は1650円）。さらに、名取市を中心に牛たん弁当の配達もしており、自宅や勤務先でもおいしい牛たんを味わうことができます。

名取店では牛たん以外のメニューにも力を入れています。毎朝仕入れる新鮮な海の幸はお刺身でいただくことができ、特におすすめのメニューはランチタイム限定のオリジナル海鮮丼。これでもか！とお刺身がのった海鮮丼に牛たん焼きが付いた豪華なランチは10食限定で1580円とこちらも大変お得。店長の安達さんは「利久は牛たんのイメージが強いが、海鮮など様々なメニューを取り揃えていることを知ってほしい」と話していました。

利久グループは今年30周年を迎える記念の年です。北は北海道、南は鹿児島まで店舗を拡大している利久ですが、安達さんはアットホームな店づくりに取り組んでいきたいと話します。今年11月でオープンから12年となる名取店では、常連さんが来店すると「おかえりなさい」と出迎えるそうです。「お客様が心からくつろぐことができて、名取店の店員に会いにきてくられるような店にしたい」と安達さん。ぜひ、おいしい牛たんと海鮮を心から味わいに足を運んでみてください。

生たん炭焼利久 名取店

営業：11:30～15:00 ラストオーダー14:30  
：17:00～23:00 ラストオーダー22:30

定休日:なし 名取市田高字南9-1 ☎022-381-1035 ※記載の価格には別途消費税がかかります。



## 熊野堂十二神鹿踊りの説明をする鈴木さん（左）

8日、熊野本宮社には50人を超える方が集まりました。ボランティアガイドで公民館などでも講座を開く郷土歴史家の鈴木次郎さん(78)が、本宮社の創建、紀伊の熊野本宮との関係や立地について詳しく説明しました。

この企画は、熊野本宮社  
熊野神社の春例祭で熊野堂  
十二神鹿踊（熊野本宮社）、  
熊野堂神楽・舞楽（県指定  
無形民俗文化財）の奉納に  
合わせて行われ、今回が初  
めての試みになります。

4月8日・15日、名取市  
観光ボランティアガイドの  
会（仮称）が熊野本宮社・  
熊野神社で無料ガイド案内  
を開催しました。

ボランティアガイド始動  
熊野二三社で春の例祭



### 本殿（奥の院）の説明をする伊藤さん

（78）が、本宮社の創建、紀伊の熊野本宮との関係や立地について詳しく説明しました。

（79）は、「このような説

当日親子で参加した、野崎理恵子さんと娘の真優希さん（小5）「近くに住んでいても、知らないことはたくさんある。このよう

多く、地元のこととにかくことができなかつた分地（62）は「今まででは転勤が野神社総代の伊藤茂志さんボランティアガイドで能

4月8日・15日、名取市  
観光ボランティアガイドの  
会(仮称)が熊野本宮社・  
熊野神社で無料ガイド案内  
を開催しました。

この企画は、熊野本宮社・  
熊野神社の春例祭で熊野堂  
十二神鹿踊(熊野本宮社)、  
名取熊野三社の成立に關  
わりのある名取老女や全国  
に3000以上ある熊野神  
社の口語(佐々木利明著)を  
会は楽しくとても勉強にな  
る」と真優希さんが話して  
くれました。

15日、熊野神社には10  
0人近くが訪れました。

明会に来られる方は、とて  
も勉強している。私は今は  
大まかなことしか説明でき  
ないが、もつと掘り下げた



熊野當神樂について説明する黒田さん



能野堂神樂



能野堂舞楽